

Doctor Interview

医師インタビュー

整形外科

關口 昌貴 医師

MASAKI SEKIGUCHI



整形外科と麻酔科の専門知識を生かし、地域医療への貢献を目指します。

■ 麻酔科から整形外科への歩み

もともと父が、麻酔科医師で全身管理ができる麻酔科というものに興味があり、麻酔科医を目指しました。ペインクリニックなどの診療を行う過程で整形外科領域の知識が必要と感じ、学んでいくうちに次第に整形外科に惹かれていきました。最終的には、整形外科も専門医となり、手術も行っております。

■ 疾患を見逃さず、有効な治療法を選択する

正しく診断すること、見逃さないこと。そして、その疾患に最も有効な治療法を選択すること。当たり前のようですが実際の臨床では患者さんの訴えをよく聞くことや、知識と経験が十分でないと難しいことです。いつも初心に帰り、油断しないよう日々研鑽を積むことを心掛けております。

■ 麻酔科と整形外科、二刀流の強み

麻酔科医は、「解剖学、呼吸・循環の生理学、薬理学」といったさまざまな知識が必要とされます。それらの知識と経験をもとに手術の麻酔や病棟での人工呼吸管理などを行っています。

また、整形外科医は処置や手術を通して実際に患者さんの患部の治療を行います。麻酔科と整形外科の専門医であることから、双方の立場や考えを理解し実行できることが自分の強みであるかと思っております。

余談になりますが、プロ野球選手の大谷翔平さんは、ピッチャーとバッターを行うことで、ピッチングの時はバッターの気持ち、バッティングの時はピッチャーの気持ちがわかるのではないのでしょうか？それぞれの立場を対岸から見ることは良い経験であると思います。

■ 患者さんに寄り添い、健康な生活を共に支える

ケガなどで入院された患者さんがまた元気に動けるようになって退院されていくのを見るときに本当によかったな、と思い、またがんばろうという気持ちになります。外来診療や入院、手術を通して地域の方々に貢献していきたいと考えております。

Profile

■ 経歴

平成5年 北里大学医学部 卒業
慶應義塾大学麻酔学教室入局。病棟チーフ、心臓外科をはじめとする各診療科の麻酔管理・指導を経て医局を退局。
江戸川病院に麻酔科医師として赴任。年間1,500例の全身麻酔を7年間担当。その後、整形外科を学び、専門医を取得。

■ 資格／所属学会

日本専門医機構認定整形外科専門医
日本整形外科学会認定スポーツ医
日本整形外科学会認定運動器リハビリテーション医
日本専門医機構認定麻酔科専門医
日本麻酔科学会認定麻酔科認定指導医

